

令和3年度 特別養護老人ホーム白滝荘 事業報告書

1 運営方針について

特別養護老人ホーム 白滝荘は、「和氣笑顔」を施設の運営方針として、入所者及び利用者と職員が馴染みの関係を築き、穏やかで心の通う温かみのある施設を目指して来た。コロナ禍においても、慣れ親しんだ昔を思い出して頂くような行事を計画し、楽しみのある生活を送って頂けるように支援した。

また、地域貢献としては、コロナ禍の為、地域の行事も中止になり、体操教室などの施設開放も難しかった状況だった。

2 事業目標評価について

(1) 生活援助係（介護）の評価

1 番館は、コロナ禍で外出支援がままならない中、職員と一緒にゲーム、脳トレ、歌遊び、折り紙等を実施し、楽しみのある生活の支援を行う事が出来た。また、昼食前にはラジオ体操や口腔体操を実施し、入所者とコミュニケーションをとりつつ、身体機能の維持、向上に努めた。

2 番館は、歩行が出来る入所者が多いため、日常生活のちょっとした気づきを職員間で情報共有し、転倒などの事故防止に努めた。また、入所者のタンスの整理や居室の環境整備に関しては、職員間の共通認識として実施することが出来、気持ちよく生活して頂く支援が出来た。

(2) 生活援助係（医務）の評価

他部署との情報交換や介護日誌の確認、又は入所者と利用者の毎日の検温実施により、異常が早期に発見でき、その結果、受診に繋げる事が出来た。

定期受診などで外出する際には、感染の危険性もあったが、慎重に対応し、新型コロナの施設内流行は見られなかった。

職員会議においては、医療の専門職として感染症研修を度々行い、感染予防に繋がる取り組みを実施した。

(3) 給食調理係の評価

コロナ禍ではあるが、施設での生活が少しでも楽しみとなるよう、出来る範囲で季節に合わせた行事が実施できた。介護職員も交えての計画や実施が行えなかったのも、施設全体が協力し合える体制作りを今後は行って行きたい。

衛生管理については、魚肉類や生で食べる食品の調理器具等の取扱いがより細かく改善できた点が成果といえる。

(4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

ご家族の要望を尊重したニーズを挙げ、入所者の QOL の向上を意識したケアを実施した。また、コロナ禍においてご家族の面会が叶わなかった為、他職種と連携をとり、ご家族へ入所者の現状を報告し、不安感の除去に努めた。

(5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

日々の小さな日常動作の積み重ねが、生活能力の維持・拡大に繋がる事を念頭に、生活リハビリを中心に機能訓練を実施した。

(6) 生活相談員の評価

コロナ禍の閉塞感の中でも、昨年同様、オンライン面会や、流行状況も考慮しつつ窓越し面会も行い、ご家族とのつながりを感じて頂けるようにした。

令和 3 年度の介護報酬改定に関しては、新しい加算を算定する際、担当職員に取り組み方の助言を行い、多職種で算定条件漏れのないように取り組んだ。

各種委員会の取り組みとしては、構成職員に積極的に取り組んでもらうため、役割分担の明確化を図ったが、伝達不足もあり、上手く機能しなかった点が、来年度の課題である。

(7) 総務係の評価

毎月の収支の状況を把握し、施設の在り方などの視点も含め、適正な維持管理を行った。

老朽化による修繕に関しては、コストや優先度を判断し取り組んだ。

昨年に引き続きコロナ禍の為、ご家族からの電話連絡が多く、ご家族の気持ちに配慮した丁寧な対応を心掛けた。

3 職員の状況

職員数と令和3年度中における異動

区分 職種		現員 (人) R3. 4. 1	令和3年度中における異動				現員 (人) R4. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1	1	1			1
	事務職員	2					2
	生活相談員	1			1	1	1
	看護職員	2					2
	機能訓練指導員	0				1	1
	介護職員	14	3		1	3	13
	介護支援専門員	1					1
	栄養士	2					2
	調理員	1			1		0
常勤職員	看護職員	1					1
	介護職員	7			2	1	6
	機能訓練指導員	1			1		0
	調理員	3					3
	調理員兼介護職員	0				1	1
非常勤職員	看護職員	1					1
	介護職員	10				1	11
	調理員	2					2
	介護補助員	3					3
	宿日直員	3					3
	嘱託医師	1					1
合計		56	4	1	6	8	55

4 入所者の状況

本入所の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和3年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	3	25	28	3	7	△4
豊浦町	0	3	3	2	1	1
豊田町	0	5	5	1	2	△1
その他	0	2	2	0	0	0
合計	3	35	38	6	10	△4

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 89歳 女 102歳 最少年齢 男 87歳 女 69歳 性別平均年齢 男 88.6歳 女 88.9歳 平均年齢 88.8歳
～70歳	0	1	1	2.6	
71～80歳	0	4	4	10.6	
81～90歳	3	12	15	39.5	
91～100歳	0	17	17	44.7	
101歳～	0	1	1	2.6	
合計	3	35	38	100.0	

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	0	17	17	44.7
	一部介助	2	5	7	18.5
	全面介助	1	13	14	36.8
排 泄	自 立	0	0	0	0.0
	一部介助	1	16	17	44.7
	全面介助	2	19	21	55.3
入 浴	一 般 浴	0	5	5	13.2
	特 殊 浴	3	30	33	86.8

5 実績

特養（定員 60 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	1,167	1,219	1,125	1,131	1,162	1,154	1,209	1,193	1,229	1,209	1,109	1,169	14,076
	利用率	64.8	65.5	62.5	60.8	62.4	64.1	65.0	66.2	66.0	65.0	66.0	62.8	64.2
令和2年度	実績	1,256	1,310	1,209	1,221	1,299	1,225	1,233	1,290	1,351	1,370	1,202	1,272	15,238
	利用率	69.7	70.4	67.1	65.6	69.8	68.0	66.2	71.6	72.6	73.6	71.5	68.3	69.5

昨年度1年間で10名の退所があり全員が女性だった。また、退所理由については、医療機関に長期入院の為に5名、死亡原因が老衰の為に3名、急性心不全が1名、呼吸停止が1名となっている。

平均介護度は、令和3年度と同じ3.9だった。

短期入所（定員 19 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	174	193	170	123	126	166	179	215	210	143	143	102	1,944
	利用率	30.5	32.7	29.8	20.8	21.3	29.1	30.3	37.7	35.6	24.2	26.8	17.3	28.0
令和2年度	実績	204	210	192	206	241	200	206	177	183	165	180	166	2,330
	利用率	35.7	35.6	33.6	34.9	40.9	35.0	34.9	31.0	31.0	28.0	33.8	28.1	33.5

6 研修の状況

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員
認知症介護実践リーダー研修	7/26, 7/30, 8/11, 8/23, 8/30, 9/6, 9/14, 9/22, 9/27, 11/26					1				
社会福祉法人会計基準実践的決算 講習 (Zoom 研修)	5/3		1							
入所施設における新型コロナウイルス 感染症対応研修	5/20				1					
介護施設における安全対策担当者 養成研修 (WEB 研修)	7/27					1				
社会福祉法人会計研修 (WEB 研修)	7/28	1								
介護報酬改定 WEB セミナー	8/10	1		1						
介護施設における安全対策担当者 養成研修 (WEB 研修)	9/16					1				
給食調理現場における衛生管理の ポイント (WEB 研修)	11/18								2	6
介護施設における安全対策担当者 養成研修 (WEB 研修)	11/19					1				
全国老人福祉施設大会 (WEB 研修)	11/25					1				
2021 年介護報酬改定の検証と 2024 年同時改定を視野に入れた介 護事業戦略 (WEB 研修)	12/20	1		1						
社会福祉法人の事業計画に向けた 取組の推進 (WEB 研修)	1/17	1		1						
BCP 作成の具体的な進め方等 (WEB 研修)	1/24	1		1		1				
山口県老人福祉施設協議会施設長 研修 (WEB 研修)	3/1	1								

新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、研修のほとんどが WEB 研修になった。結果として、勤務の隙間時間を利用しての参加が可能になったり、多くの職員が参加できるようになった等、研修参加の機会が増えた点が利点といえる。

7 その他

(1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開催頻度等	出席者
運 営 会 議	施設全体の方向性の確認、 行事の確認等	毎月1回	施設長、生活課長、居宅管理者、総務主任、生活相談員
調 整 会 議	施設全体の方向性の確認	9, 2月	施設長、生活課長、居宅管理者、介護・医務・調理・総務の各代表、介護支援専門員、生活相談員
安全衛生委員会	衛生管理に関する事	毎月1回	施設長、生活課長、介護・医務・調理・総務の各代表、衛生管理者
リ ー ダ ー 会 議	各部署からの連絡、確認	毎月1回	生活課長、介護・医務・調理の各代表、介護支援専門員、生活相談員
職 員 会 議	施設内研修、事務連絡等	5, 7, 9, 11, 1, 3月	全職員対象
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3月	第三者委員、理事長、施設長、介護支援専門員、医務職員、介護福祉士、生活相談員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3月	第三者委員、理事長、施設長、生活課長、法人内の各施設の生活相談員
サービス担当者会議	ケアプランの確認	随時	生活課長、介護支援専門員、医務職員、機能訓練指導員、介護職員、管理栄養士、生活相談員
番 館 会 議 (介護)	入所者のケアについて	月1回	介護職員
医 務 会 議	医務に関する確認	6, 8, 10, 1月	医務職員
調 理 会 議	調理に関する確認	5, 9, 11, 1月	調理職員
各 種 委 員 会	感染症対策委員会	年11回	生活課長、生活相談員、介護・医務・調理の各代表、介護支援専門員
	褥瘡予防委員会	年5回	
	事故予防委員会	年6回	
	身体拘束委員会	年6回	
	喀痰吸引等の安全委員会	年6回	
	人権擁護・虐待防止委員会	年5回	
相 談 員 会 議	各施設の連絡、確認	9月	法人内の各施設の生活相談員
栄 養 士 会 議	各施設の連絡、確認	11月	法人内の各施設の栄養士等

感染症について

昨年同様、ご家族の面会制限、業者の立ち入り制限を行った。職員に対しては、始業時の健康チェックと検温を義務付け、体調不良のまま業務を行う事のないようにした。また、市内で感染者の増加が見られた際には、短期入所の利用者に関して、利用開始時、ご家族の了承を得て抗原検査を実施し、感染予防対策を行った。その他にも、換気、マスク、手指消毒の徹底を行い、施設内の流行を防止できた。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関 連 行 事	ボランティア
4			
5		新型コロナワクチン1回目接種 害虫駆除	
6	夜勤職員健康診断	入所検討委員会 新型コロナワクチン2回目接種	
7	そうめん流し		田耕振興草刈り作業 下関北高ボランティア
8	盆法要	避難訓練(日中想定)	下関北高ボランティア
9	敬老会	入所検討委員会	妙久寺草取りボランティア
10	実地指導(介護保険課) 参議院山口県選挙区選出議員補 欠選挙不在者投票 衆議院議員総選挙及び最高裁判 所裁判官国民審査不在者投票	入所者結核検診	
11	焼き芋大会、たい焼き大会	入所者予防接種(インフルエンザ) 職員検診・ストレスチェック 害虫駆除	
12	餅つき、お楽しみ会、法話	入所検討委員会 避難訓練(夜間想定)	
1	元日行事、鏡開き 山口県知事選挙不在者投票	新型コロナワクチン3回目接種	
2			
3	辞令交付	防災訓練(災害想定) 入所検討委員会 苦情解決委員会	下関北高ボランティア
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の日(第2月曜) ・喫茶開設(毎月第1火曜、第3金曜) 		

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和3年度実績	1,448 kcal	経口	676 円
		671 kcal	経管	657 円
	令和2年度実績	1,446 kcal	経口	685 円
		747 kcal	経管	722 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
業務日誌	業務全般に関わる記録
介護職員日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入所者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入所者の日々の記録
看護職員日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
調理職員日誌	調理に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの